

広報市民リポーターだより

平成2年度の「広報市民リポーター」による執筆は今号が最終回です。これまでリポーターの皆さんには、独自の視点でとらえたいろいろなことを取材・報告してもらいましたが、今回は、市民リポーターという仕事をとおして感じたことや考えたことなどを、自由に書いてもらいました。

親しまれている広報

島内国男

昨年四月以降市民リポーターになってからこれまで、たくさんの方たちの広報に寄せる声を聞きました。「市内にユニークな企業があるから紹介して」、「広報紙面の一部を一般市民のために開放できないものか」、「漫画やイラストをもっと多用したら」、「などなどです。市広報紙としての公的性格やスペースの関係などから、実現はむずかしいものが多いようでしたが、これも広報が市民に広く親しまれ、生活の中に定着していることのあらわれだと思えます。

九月一日号から、広報の表題欄に市役所の代表電話番号を入れてもらいましたが、私としては高齢者など目の不自由な方たちの利便を考へての提言でもあったので、もっともっと大きな活字にしてほしいと思います。

ともあれ、さきに参考のため全国数十市町村の広報と比較してみ、大館市の広報はたいへん明るく、見やすい編集になっていることを改めて実感し、関係職員の努力に敬意を表します。

今後、女性スタッフ起用の検討も含め、フレッシュなアイデアとインテリヤ的センスをさらに発揮され、広範多彩な市の情

島内国男リポーター

(大町)



報をよりソフトな紙面で市民に届けていただけるよう期待しています。

市議会の傍聴

野村裕子

若輩者としてはちよつと行けないところでも、市民リポーターということで思い切って出かけたところがあります。

二日間、市議会を傍聴。テレビで国会中継を見るたびに、大館市の議会はどのようであらうかと思っていました。少し緊張しつつ傍聴席に着きましたが、国会のようなやじもなく静かだ、市長、議員の熱弁に聴き入りました。議会の内容は、固定資産税のこと、教育委員会の答弁、市立総合病院の話など、とても身近で興味深いものばかりです。

野村裕子リポーター

(川口)



た。周りを見て感じたのは、傍聴人が少ないなということでした。市議会がある日は市役所の前へ看板でも出せば、市民の関心はもっと高まるだろうと考えます。ぜひまた出かけた場所です。

今後の「リポーター」に望むことは、二十代の人にもリポーターになっていただきたいということ、また取材をなさる方には若い人や女性を取り上げてほしいということでした。

市民の集りにも参加しましたが、いろいろな立場の方の意見を拝聴する機会に恵まれ、リポーターをやって本当に良かったと思います。保健所長さん、市役所のみなさんには取材の申し込みに快く承諾をいただき、また私には過ぎた大事なお話しをしてくださったことに、心よりお礼申し上げます。

高松イクリポーター

(十二所)



一市民の声として

高松イク

私は、市民リポーターになって二つの記事を書かせていただきました。一つはショートステイを併設した神山荘の紹介、二つめは燃やせないゴミの行方についての追跡レポートでした。

前者については、高齢化社会の到来で、家庭療養の老人を抱えている家庭にとって、家族のリフレッシュのためにもいかに待望の施設であったかを痛感させられました。施設長はじめ職員の方々の親切な応対に接し得たことは、私にとってありがたいことでした。

後者の不燃ゴミの行方については、行政の指導、啓蒙によって、今以上にリサイクル率を高